

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市役所	代表者名	多々見 良三
担当者部署	舞鶴市教育委員会	連絡先電話番号	0773-66-1072
担当者役職		担当者氏名	
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	第2回目までの助言内容を受け、作成した仕様書案及び事業者より提出のあった参考見積内容について総評いただき、調達に向けての目的を立てることができた。 GIGAスクール構想に係る補助内容についても、最新の国の動向を踏まえた情報提供いただき、抱えていた不安を払拭することができた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月27日	13時30分	16時00分		150
3-2. 派遣場所	会場名	舞鶴市役所内 会議室		最寄駅	東舞鶴
	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044			
	最寄駅からの交通手段	タクシー5分(徒歩15分程度)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 現行のネットワークシステムは、地元事業者が設計及び構築を行っており、多様化する用途に耐えられないのではと懸念している。5年後を見据えた更新を行いたい。普通教室での活用に耐えられるネットワーク構成やシステムの設計について、助言をいただきながら進めたい。また、校務系ネットワークとのファイル共有など、国が求める内容と現場の利便性、多くの製品から何を選定すべきか悩んでいる。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	最終目標 次期ネットワークシステムの設計完了 達成時期 11月	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・作成した仕様書の内容を確認いただき、さらに強化できる事項について助言をいただいた。 ・事業者より提出のあった見積書の内容を確認いただいた。 ・GIGAスクール構想の最新情報の提供。及び標準仕様書でどのような用途を想定しているか等。 ・プログラミング教材やコンピュータ教室についての活用事例、遠隔教育の最新事例等。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・前回助言のとおり、通信事業者とシステム構築事業者をマッチングさせたことで、全体のシステム構成の見直しが可能となり、ボトルネックの発生リスクを抑えたシステム設計が完了した。 ・学校がICTを活用できる環境づくりという意識を持つことで、機器や構築作業だけでなく、教員研修も含めた仕様書を作成することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	③事業に係るシステムの調達仕様書を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを必要としていないため、実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

